

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆日経平均株価5万円維持でGDP0.9兆円上げ、民間試算 消費押し上げ期待

・27日の東京株式市場で日経平均株価の終値は初めて5万円を突破。エコノミストの間では家計へのプラス効果に期待する声がある。日経平均が今後も5万円台を維持した場合の実質GDP(国内総生産)について第一生命経済研究所の星野卓也氏が試算したところ、2026年は0.16%(約0.9兆円)ほどの押し上げ効果が出るとの結果になった。

◆25年度の実質成長率は0.6%、26年度は0.7% NEEDS予測

・日本経済新聞社の経済・金融データサービス「NEEDS」の日本経済モデルに、2025年10月24日までに公表された各種経済指標の情報を織り込んだ予測によると、25年度の実質成長率は0.6%、26年度は0.7%の見通しとなった。7～9月期は輸出の減速や住宅投資の落ち込みなどで6四半期ぶりの前期比マイナス成長が見込まれる。

◆「読書0分」小中高生の半数、スマホ時間長いほど短く

・ベネッセコーポレーションが2024年に小中高生や保護者に尋ねたところ、読書をしない(0分)との回答が52.7%で、15年調査時の34.3%から約1.5倍に増えた。一方、スマートフォンの使用時間は延びており、長いほど本を読む時間が短くなる傾向がみられた。15年から継続して調査。24年は7～9月にインターネットで行い、約1万2千組から回答を得た。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆LIXILの26年3月期、法人税費用が120億円減少 業績予想は精査中

・2026年3月期の連結決算(国際会計基準)において法人所得税費用が当初の前提から約120億円減少する見込みと発表。ドイツで今年7月に成立した法案により法人税率が28年以降段階的に引き下げられることを踏まえた。今期の連結業績予想(非継続事業を含む純利益で前期比4倍の80億円)については、他の事業環境も鑑みて精査中としている。

◆米国、独立250周年で日本企業に寄付要請 ホンダは応諾へ

・米国が2026年7月4日に独立宣言から250周年を迎えるにあたり、在日米国大使館が日本の大手企業に寄付を要請。米国で投資を拡大しているホンダは応じる方向で調整している。米国で事業を展開している大手総合商社にも要請が来ている。米国でビジネスを広げるため、各社はトランプ米政権へのアピールを探る。

◆都と三協立山・LIXIL・YKK APが断熱改修で協定締結 情報提供など

・東京都は家庭における断熱改修の促進に向け、三協立山、LIXIL、YKK AP各社と連携協定を締結したことを発表。3社の協力により、都民や都内の住宅リフォーム事業者への情報発信などを推進することが目的。主な連携内容は、都内の住宅リフォーム事業者などへの住宅断熱改修促進に向けた働きかけに関する事項など。

《 注目商品 》

■トクラス、「Bb+(ビービープラス)」普及価格帯キッチンモデルチェンジ

・リフォーム向けの普及価格帯キッチンモデルチェンジ。袖壁付き造作対面キッチン、アイランド型、L字型などさまざまなレイアウトに対応。「カウンター間口調整」や、梁や柱に合わせてカットできるレンジフードの「幕板仕様」を追加するなど建築対応力を強化。



■パナソニック、コンパクト化と使い勝手向上を両立 compact-3 plan

・コンパクト化と使い勝手向上を両立した対面キッチンの新プラン。横並びの3つのコンロ「フラットワイドコンロ」、奥行を拡大し、3方向から囲んで使用できる「ラウンドアクセスシンク」、大容量で450mm幅の「フロントオープン食洗機」搭載プラン。



■YKKAP、リフォーム防火ドアのデザインを拡充

・国土交通大臣認定防火設備のカバー工法リフォームドアをリニューアル。親扉を、現行品の9デザインから41デザインへバリエーションを拡充。ナチュラル・シック・シンプル・エレガントの4つのデザインテイストを用意し、カラーは12色をラインナップ。

